

## 「平成27年度新採用看護職員研修」のご紹介

看護部 看護教育担当課長 仁木 恵美子

今年度の新採用看護職員は、68名(新卒看護職員37名、既卒看護師31名)です。4月1日から3日間の「新採用看護職員研修」を受け、市立札幌病院の看護職員としての立場と役割を理解しました。2週目からは、「看護の目的と根拠を考え、安全・安楽で安心できる看護技術を学ぶ」を目的に、看護技術研修を実施しました。今年は、研修生がより主体的に学べるようにシミュレーション研修を企画しました。午前中はひたすら技術をトレーニングし、午後からは、患者を想定して必要な看護を提供するタスクトレーニングを行いました。看護師役、患者役、観察者を体験したことで活発な意見交換となり、より良い看護を行うために必要なことを全員で考えることが出来ました。特に患者体験をしたことで、説明の仕方やその内容、声のトーンや目線、羞恥心への配慮等、多くの気づきがありました。何度も繰り返し、トレーニングをしたことで、患者さんに関わる時の自信に繋がったようです。研修項目は「採血」「静脈内点滴」「血糖測定」「陰部洗浄」等の13項目です。「静脈内点滴」は、今年から留置針を使用してスキルトレーニングを行いました。シミュレーターに細工を施したことで、臨場感あふれる研修になりました。研修生一人ひとりが

真剣に取り組み、それを指導者である先輩看護職員がサポートする姿も頼もしい限りです。看護部理念「私たちは『科学する眼』と『確かな技術』で心の通う看護を提供します」を具現化した看護が展開できるように成長することを大いに期待しております。



看護技術研修に取り組む風景

## 初期臨床研修医オリエンテーションを終えて

臨床研修センター長 甲谷 哲郎

平成27年4月から当院で初期臨床研修を受けるのは、1年目医師が12名、2年目医師が7名となりました。4月1日辞令交付後から、早速、臨床研修センター主催の「初期臨床研修医オリエンテーション」が9日間の日程で行われました。臨床研修センターが昨年4月に発足し、今回がセンターとして主催する初めてのオリエンテーションであり、本プログラムは、研修医の意見を聞き、国内外の情報を探索整理し、さらに当院の持てる長所を盛り込んで完成したものです。

初日には院内各部署を見学しました。普段は見る機会が少ない部署に実際に出向き、そこで働く職員の方からお話を伺い、病院とは実に多職種で成り立っているということを研修医は体感することができました。また、「注射・点滴」、「手洗い・消毒」、「グラム染色・鏡顕」、「外科縫合」など実践的な実習も多数ありました。採血実習では上手くできなかったひとのために、実習終了後に延長して仲間同士で手技を繰り返していました。さらに多数の講義もありました。一部

の講義は2年目初期研修医、後期研修医の皆さんに担当してもらいましたが、自らの経験を生かした立派な講義を聞いて、研修数年でここまで成長するのか、と感動した次第です。研修医は誰一人として講義中に居眠りしているものはいませんでした。各講義が研修医にとって実践的かつ魅力的であったからだと思います。最終日には、ICLS講習会で救急蘇生法を体験し、オリエンテーションを締めくくりました。今回のオリエンテーションは、まさに「病院全体で研修医を育てる」という当院のポリシーが実践された場であったと思います。初期研修医の今後の活躍・発展に期待しています。



採血・点滴確保の実習